



公開と改革
disclosure and political reform

高橋 とみお

臼井印西線 県道 64 号線

変則五差路の信号機設置 の必要性について考える

危険な交差点とふるさと広場の大規模開発

臼井印西線の変則五差路は、周辺住民の皆さまが頻繁に使う生活道路に立地する危険な交差点であり、過去たくさんの事故が発生しています。

一方、佐倉市はふるさと広場をより集客できる魅力的な観光地とするため、大規模な再開発を進めており、広場周辺の土地買収が進んでいます。



交差点の信号機設置は観光地開発前に行うべき

しっかりした計画をもとに観光地開発をすることは、佐倉市の活性化のために必要と考えます。しかし、印西方面からふるさと広場への抜け道として利用されることも多いこの交差点の安全対策なしに、本広場の大規模な再開発をすることは拙速ではないでしょうか。



安全対策を前提とした観光地開発を願う

臼井田のこの周辺は、幼稚園、保育園、小学校が密集している他、ご高齢者も多いエリアです。歩行者にもドライバーにも危険なこの交差点には、観光地開発の前に信号機を設置することが必須であると私は考えています。

次ページ以降の記事は、昨年 12 月 3 日に私が議会で行った一般質問の概要です。佐倉市は、本交差点の信号機設置は計画しておらず、観光地開発をした後の交通量を注視する、という答弁でした。

確かに、佐倉市の財政は厳しく、大きな予算をつけることに慎重になるのは理解できます。一方、現在大きな予算をつけて実施している事業の中に、優先順位が必ずしも高くないものも複数あります。たとえば、里山自然公園の民有地の買収に、今後数億円規模の予算を投入する計画があります。この交差点の危険性を勘案したとき、信号機設置に予算をまわすことの方が優先順位は高いと考えます。観光地開発が進み、事故が多発してから判断するのでは遅いのではないか、というのが私の見解です。

【2024 年 12 月 2 日 佐倉市議会 高橋とみお一般質問 概要】 千葉県道 64 号臼井印西線と市道が交わる変則五差路



変則五差路の危険性とヒヤリハット事例

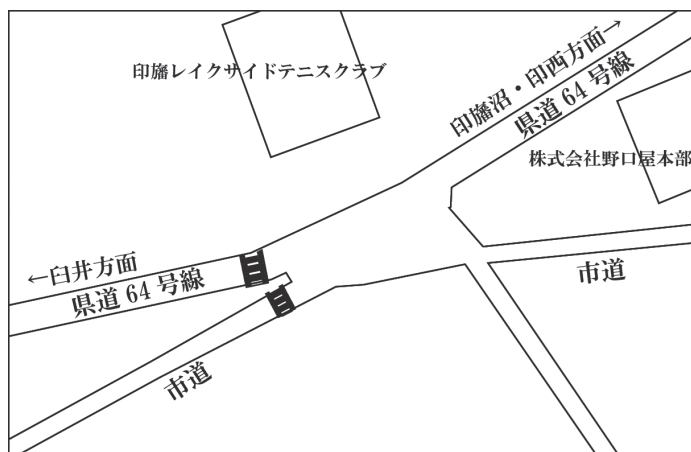
ふるさと広場の開発が進んでいます。

同広場への一つのアクセスルートとして、千葉県道 64 号線（臼井印西線）が、佐倉レイクサイドテニスクラブの前からのびる市道と交わる変則五差路があります。

この場所は見通しが悪く変則的な交差点であることから、過去にも歩行者の死亡につながる事故や、トラックによる規模の大きな玉突き事故をはじめ、多くの交通事故が発生しています。事実、直近では本年 10 月にも事故が発生しています。

下の図をご覧ください。

県道に対して市道が変則的に交わっています。



県道も市道も、それぞれカーブがあり、見通しが悪い交差点です。

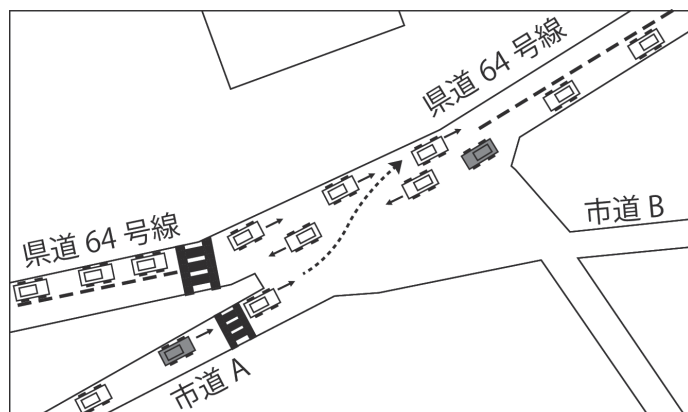
この交差点の交通量が多い理由は、資料でいえば下（京成線の線路方面）にのびている市道が、印西方面から佐倉、成田、あるいは JR 佐倉方面へ

の抜け道になっているからです。

もちろん、その逆に佐倉方面から印西へ抜ける道としても多く利用されています。

私がこの交差点の視察を複数回にわたり実施したところ、事故ぎりぎりの状態を何度も目撃しました。

下の図をご覧ください。

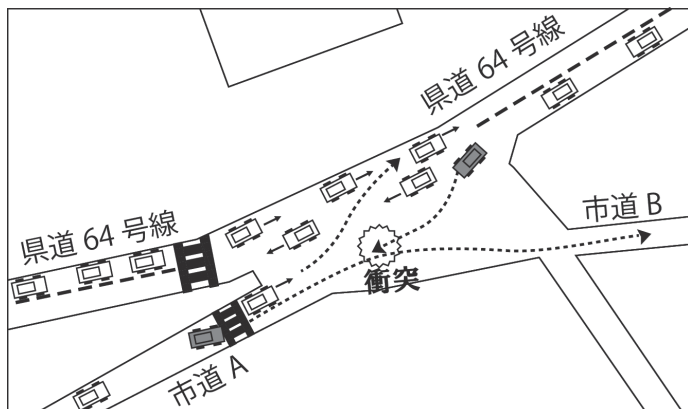


恒常的に、県道 64 号のこの交差点付近は混雑しています。

ここに、市道 A、資料でいうと左下（京成線の線路方面）から、複数台の車両がのぼってきます。これらの車は、すべて県道 64 号・印西方面の車線に合流しようとしています。

しかし、県道は混雑しているため、市道の一番前の車が停車し、64 号に抜けるタイミングをはかっています。

次のページの図をご覧ください。



市道 A に待機している 2 台目の車が待ちきれなくなり、市道 B に抜けるため発車しました。実は、市道 B は先へ行くと住宅街の細い抜け道を通して、64 号に出られるのです。

一方、印西から県道 64 号を通して南下してきている車が、市道 A に抜けようとしています。この車からは、前の車両を追い越して市道 B に向かってくる車が死角になります。

この 2 台の車が、衝突寸前で停まる事案を、私はここで何度も見えています。警察に聞けば、おそらくこのような事故はこの場所では何度もおきているはずです。

懸念される事態と対応

私が懸念しているのは、今後ふるさと広場が開発され、観光地として集客力が強化されればされるほど、この道はさらに混み合い、さらに利用しづらくなる、という点です。

この場所は臼井田の住宅地内にあり、地域住民の皆さまが印西方面へ行く際には、この交差点を通らざるをえません。しかし、平日の通勤時間帯や、休日の夕方等、交通量が多い折には、特にこの変則五差路は甚だ利用しづらく、冒頭説明したとおり実際に事故も頻発しており、危険です。

この道より印旛沼寄りにバイパスを通す計画もあり、その道路ができるのがベストではあります。しかし、予算面を考えると、それを実現するには多くの課題がありますし、そもそもここに本変形五差路がある以上、交通量が減少したところで危険であることには変わりありません。

以上を考え合わせると、この交差点は、道路の

形状に手をいれるなどして信号機を設置する必要があるように思いますが、いかがでしょうか。

【佐倉市の答弁】

ご質問の交差点につきましては、令和 3 年度に通学路緊急合同点検で決定された安全対策を既に実施しておりますので、道路改良の予定はございません。また、信号機の設置は、警察の管轄であり、道路の状況や交通量をよく考慮して判断されるものと認識しております。

佐倉市が主体的に信号機を設置する意思はあるか？

本件については、警察の判断というご回答をいただきました。一方で、先にお伝えしたとおり、ふるさと広場の拡張計画がすすめばこの場所はさらなる交通渋滞等が予想されます。

また、信号機をつけるとすれば市道の形状に手を入れる必要がある可能性もあります。

その意味で、佐倉市が主導して信号機をつけることを警察にもちかけ、共同で信号機を設置する方策もあろうかと思いますが、そのような計画があるかどうかはいます。

【佐倉市の答弁】

御質問の交差点につきましては、現在のところ計画はございませんが、ふるさと広場拡張後の交通量を注視してまいります。

ふるさと広場は多くの集客をすべく、W コア構想を前提にして開発が進んでいきます。その折に、もしここで大きな事故が多数発生した場合、この場所の安全対策を見送った行政の責任という文脈で語られることは避けられません。

ぜひ真剣に策を打っていただきたいと強く要望します。

一般質問終了

■ おわりに：臼井田の市道周辺の危険な交通事情

市道と県道 64 号線周辺の道路一帯が危険な状態

私の一般質問でも確認した通り、この変則的な交差点では、たくさんの重篤な交通事故が発生しています。また、この交差点にかかわらず、「市道と県道 64 号線周辺の道路一帯」が危険な状態にあると考えます。

臼井幼稚園、臼井保育園、臼井小学校が集まって立地する住宅街を挟み込むように、県道 64 号線と市道が走っています。県道 64 号線は交通量が多い一方で見通しが悪く、歩道も狭いために歩

行者にとっては危険な道路です。市道に目を向ければ、確かに見通しはよい一本道ですが、幅員は狭い。その狭い道を、明らかに時速 60km を超えて走る危険な車を、調査の過程で私は何度も目にしました。



県道 64 号線に交差する手前の市道。見通しの良い直線道だが、幅員が狭い。

懸念される危険性と「観光地開発後」の見通し

京成線の線路方面から市道を上り県道 64 号線に合流する間際、市道はゆるい登坂になっています。そのため、夜間では市道から県道に合流しようとする車両の前照灯がハイビームのように上に向くために、印西方面から県道を下ってくる車両の運転手は非常にまぶしく、横断歩道上の歩行者を発見しづらい状況に陥ります。

また、京成線の線路沿いの道路からこの市道へ入る T 字路は、周辺住民の皆さまの生活道路ですが、「抜け道利用者」の車両が優先されるような作りになっている点も気になるところです。今後、ふるさと広場の大規模開発が完了し、この先に今

よりさらに大規模な観光地が出現すれば、この一帯は交通量が増すことになります。佐倉市は、看板などを設置し、車での来場者を別ルートに案内しよう心がけるとのことですが、昨今の車にはナビゲーションシステムが搭載されているため、看板の設置効果は限定的なのではないでしょうか。



京成線の線路沿いの道から市道に入る T 字路。抜け道利用の車両の通行量が多い。

変則交差点等危険な箇所に関する意見交換会のお知らせ

臼井印西線と市道が交わる交差点など、交通危険箇所について意見交換会を実施いたします。ご来場お待ちしております！どちらにもご参加いただけますが、臼井田自治会様ご主催の 2 月 9 日の会合は、時間が短いことに加え、席数に限りがございますことから、状況によっては立ち見となる可能性がございますこと、予めご了承ください。

2025 年 **2 月 9 日 (日)**

主催：臼井田自治会
会場：臼井田自治会館
午前 11 時 30 分から 30 分程度

2025 年 **3 月 8 日 (土)**

主催：会派名「公開と改革」
会場：臼井公民館（音楽ホール 2F）集会室
午後 1 時 00 分から 1 時間半程度